

スキーツアーのご案内

SNKで、1月24日(出)、25日(回)にスキーツアーに行きます。日帰りでも参加できます。リフト代、食事代、宿泊費(泊まる人だけ)は参加者の負担ですが、交通費、スキー教室参加費はSNKで負担します。行き先は妙高方面を考えています。初心者も歓迎しますので、ぜひご連絡ください。



3月にイベントをやろうと思っています。内容は芝居と寄席です。今ところ出演予定は当町在住で今年からフリーで演劇にとりくんでいる小林へろさん。小林さんは県内各地で公演されています。寄席はテレビなどでもおなじみの三遊亭新瀧さん。三遊亭さんは上越市の出身のはなし家です。お二人ともまだ二十代で将来が大きく期待されています。

SNKでは、このイベントのスタッフを募集します。特にどういう人でなくてはならないということはありません。今年は何かやってみよう、という人はぜひご連絡ください。  
■連絡先 社会教育課 ☎377-3101

町民の皆さんから好評を戴いた「鷲尾雨工展」を、目出度く打上げると、息つく暇も無く初冬、研修旅行の実施です。栃木県塩原温泉一泊三日の旅。幸い晴天に恵まれ名所、名刹、名所と処々に研修を重ねました。



今年の修学旅行は塩原温泉  
お元氣な賀状文集「折鶴」原稿の発行と重なり、肩肘張らず本年も宜しく御願ひします。

入会希望は社会教育課へ  
第8回  
377-3101  
A生

西蒲・燕ミニバスケットボール大会で山田小学校が優勝

11月7日(日)、岩室村営体育館で行われた第11回西蒲・燕地区ミニバスケットボール大会に山田小ミニ・バスケットボールチームが出場しました。1回戦から決勝まで、36対2(対弥彦ミニバス)、46対0(対味方小)、29対2(対月潟ゴールドフェニックス)、51対0(対燕ジュニアドラゴンズ)と実力を発揮して見事優勝しました。また、後日行われた第8回燕バスケット協会長杯争奪ミニバスケットボール大会にも準優勝しました。「地区大会での優勝は今回が初めてなので、子供たちは喜んでいました」と顧問の先生。山田小ミニ・バスケットチームのみんな、おめでとうございます。(写真/山田小ミニ・バスケットチームのメンバー。数々の大会で優秀な成績をおさめました。)



消費税の確定申告  
(1月1日～3月31日)

望として南へ海に港に向かっ  
て、あの広い大陸の荒野を歩  
いて、どこからか貨車に乗り  
この港に集まってきたのであ  
ろうか。当時の日誌を無くし  
たので年月日は不明になった  
が、船が入港した翌日九時か  
ら第一回目の引揚者の乗船が  
始まる。約五百名の邦人が、  
(その人達には気の毒だけれ  
ども)頭から身体中にDDT  
の粉末をかけられ粉まみれに  
なり、栄養失調でふらふらな

人々が一本のクラブを二歩  
一歩踏みしめ、手すりにしっ  
かり掴まって登って来る。そ  
の目は活き活きとして、甲板  
に立つたら船室に入らず口を  
閉ざしたまま、陸の彼方を見  
つめている。  
小雨の降りだした午後四時  
に出港。甲板にはそれぞれの  
人が思い思いの感慨を込めて  
陸影の見えなくなるまで見つ  
め、やがて夕食の味噌汁の香  
りに流した、あの涙の光影を

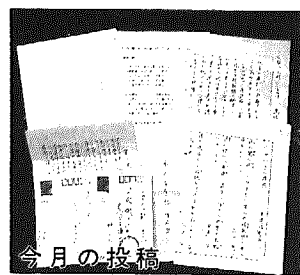
今でも忘れる事が出来ない。  
新聞記事やテレビのニュー  
スに大陸の孤児の事が報道さ  
れる度に思い出されてならな  
い。あれから四十余年の歳月  
はあまりにも永くて、人々の  
記憶にも忘れ去られようとし  
ているが、私には現在も忘れ  
る事の出来ない思い出の港、  
葫蘆島港である。

焼が出来上がるまでが待ち遠  
しく、いつも胸をワクワクさ  
せています。  
私達陶芸をやっている者を  
こんなに乗せさせて下さる  
指導員の柏繁行さんの並々な  
らぬ献身的な奉仕の賜物であ  
ると感謝しております。勤務  
の傍ら、窯の管理に始終配慮  
され、私達が心よく作業出来  
る様、細かい部分まで色々と  
配慮して下さい。心遣いには  
本当に何と感謝申し上げます。

いか分かりません。  
ゲートボール、短歌の会、  
大正琴、ちぎり絵、その他、  
色々の自分の趣味に合った会  
に入り、余生を送れるなんて、  
何と素晴らしい事でしょう。  
それについても最優先する  
のは健康だと思えます。お互  
いに自分に適した趣味、運動  
をやりお友達と仲良くお付き  
合いをし、人生を楽しみたい  
と思っています。私の昨今であ  
ります。



消費税の確定申告  
(1月1日～3月31日)



葫蘆島港は中国遼寧省西部  
にあり、遼東湾に臨む港。日  
本が満州大陸の権益を握った  
あと、昭和九年に日本の軍財  
閥の力により港が造られ、農  
産物、鉱物の積出港として重  
要視される。敗戦後は引揚者

の集結港となった。  
昭和二十一年から始まった  
敗戦後の満州大陸からの邦人  
引揚者の大部分の人々が幾多  
の苦難を乗り越え、肉親や同  
胞とも別れ、我が子をも残し  
て日本に帰れるのを唯一の希

ボケない分別、何か生きが  
いのある趣味を持つと、事あ  
る毎の老人会の会合に言い聞  
かされている事でありませぬ。  
私は只今、教育委員会関連  
の陶芸教室に週一回通ってい  
ますが、陶芸がこんなに面白

中学通  
町老連会員  
いものだとは考えられませ  
んでした。  
手回しのロクロで形を作り、  
それを素焼きしていただいて  
それに釉薬をかけて本焼をす  
る。土の種類によって同じ釉  
薬をかけても色々変化し、本

街かど  
●募集しています  
●短歌  
●俳句  
●詩  
●随筆  
●イラスト  
●写真  
●まんが  
●その他  
●町への意見や要望も受け付けます  
●文章は苦手という方は連絡を  
取材に行きます  
●匿名もよいです  
●投稿・連絡先は黒崎町大野湖一  
広報「街かど」係  
☎377-3101

短歌 黒崎短歌会  
夜の闇の街にたすむ少女の煙草持つ手の細かなしむ  
孫の娘の「国体」姿目に浮かべ弥彦のお札しかといたたく  
妹の残せし日記読み行けばわが知らざりし悲しみもあり  
まさる先生好みて児童らに読み聞かせしとちこん鳥(呼ぶる)  
の詩の碑立てり 泉井 三子  
山峽の吊橋揺るる谷川の嵐囁む波たざち流るる  
竹中千代子  
趣味の園芸テーマソングのきこゆれば亡夫の呼ぶ声蘇りくる  
弥陀ヶ原地帯のつづく七曲り 遠く富山の海も見えたり 永田キヨイ  
両の手に抱きて測る長男の記念樹太し我も老いたり 長谷川トトリ  
四十年の姑との縁しのびつつ 菊たつぷりとみたまに供う 小出美喜子

俳句 黒崎俳句会  
終電の尾灯に夜霧流れゆき  
山茶花や目覚めの早き宿の朝 日小春 代香  
ふたたびはめぐり逢はれぬ今日小春 義男  
大根干す新幹線の柵借りて 朴散つてむこうに空のひろさあり 雷鳴の天地ゆすりて冬を告ぐ 坊守の正座ゆかしき法思講 多佳  
立冬や紙片のやうな蝶ひとつ 立冬や紙片のやうな蝶ひとつ 吟立てて冬の怒濤に對しけり 富代

最近感ずること  
大根の洗ひあげたる白きかな 敬 郎  
枯草に半身寄せて径ゆする トシ松  
残る菊一日待ちて引きにけり 秀子  
山門の屋根をころけて初霰 文雄  
水かきのあかき足見せ鴨もぐる 美 芳  
意のままに走らぬ絵筆十三夜 さかる 律子  
着ぶくれてだんだん人をどう 着ぶくれてだんだん人をどう  
紅葉敷く末社は暗く神は留守 紅葉添へ近況したため便り 来る 玲子  
小春日に小川をはさみ補洗ふ 小春日に小川をはさみ補洗ふ 弘子  
風に工事現場の旗ちぎれ 着ぶくれてだんだんに遠ざかる 飼ひ馴れしいんこ相手に日向ぼこ 成子  
白鳥の遅れじと行く暮の空

悲しめば白じろ浮ぶ花八手 水 仙  
綱わたりすること過し日記 果つ 舞子  
ストープに猫のちぐらも寄せたり 引き抜きし太太根の重たさよ 取り合へず二尺注連縄買いとむ 友 佳  
汝も吾も世にぶらぶらと馬瓜 明けきらぬ一日のあり花八手 素 明  
弟の 傘寿の祝 福寿草 弟の 傘寿の祝 福寿草  
せわしきは いづこも同じ 書初めに 感謝の二字を 書きにけり 佐藤 キン  
むらさきの都わすれらのつつましき晩春の陽に花ひらきつつ 朝陽射す湯殿に蠅等足伸ばし 唄え難せる湯治場のどか 小林 信

手編みレアル会 会員募集  
日時 毎週水曜日夜7時～9時  
会場 北部地区公民館  
会費 月2500円  
※初めての方大歓迎です。  
おたずね ☎265-0340 依谷まで

北部地区公民館 親子のつどい  
親子で楽しいひとときを過ごしましょう。  
日時 1月29日(土)午後2時～4時  
内容 映画会「ラーメン天使」「赤ずきん」とレクリエーション(指導 教育委員会渡辺平穂さん)  
対象・定員 幼児小学生と保護者70人(申し込み順)  
※運動靴をご持参ください。参加費無料。  
会場・申し込み 北部地区公民館(☎232-0077)